

「大学検定」の自校教育への利用可能性

- 「大学検定」の内容分析を通じて -

葛 城 浩 一 (大学教育開発センター准教授)
高 橋 範 久 (教育学研究科1年)
竹 村 勇 治 (教育学研究科1年)

1. はじめに

近年、高等教育の現場においては、「自校教育」のニーズが高まりをみせている。「自校教育」とは、「大学の理念、目的、制度、沿革、人物、教育・研究等の現況、社会的使命など、自校（自学）に関わる特性や現状、課題等を中心的な教育題材として実施する一連の教育・学習活動」（大川 2006、11頁）である。自校教育の実践は大学設置基準の大綱化以降、盛んに行われるようになっており、大川（2009）によれば、2008年時点において自校教育に関する授業を実施している大学は36.5%、特に国立大学は53.2%にも及ぶという¹⁾。

本学では、2008年度の時点で自校教育として位置づけられるような教育・学習活動が本格的に行われているわけではなかった。そこで、筆者は2008年度、教養ゼミナールにおいて「香川大学検定をつくる！」という授業科目を設定し、その作成過程を通じて、本学への理解を深め、本学への愛校心や帰属意識を高めることをねらいとした授業を行った（詳細については、香川大学大学教育開発センター編『香川大学教育研究』第6号を参照）。こうしたねらいは、半期の授業を通じて少なからず達成されたといえる。しかし、そこで作成された『香川大学検定』は、その作成過程に携わっていない第三者の、本学への愛校心や帰属意識を高めるためのツールとして十分なレベルに達しているわけではなかった。

そこで、この授業で得られた成果を叩き台としながら、その受講生であった学生が、自身の所属する学生支援サークル「MINtS（ミントス）」のメンバーとともに、その完成を目指すプロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトを通じて完成した『香川大学検定』は、新聞やテレビ等、複数のメディアで取り上げられ、入手希望の問い合わせが学外からも多く寄せられた。大学の内外を問わず、より多くの人々に『香川大学検定』を手にとってもらうことによって、本学に対する理解がより深まるとするならば、本学関係者のみを視野に入れた「自校教育」以上の成果が得られたともいえる。

この『香川大学検定』を、自校教育のツールとしてより有効なものとするために、他大学における同様の取組に学ぶことには一定の意義があろう。そこで、本稿では、各大学でどの程度「大学検定」が行われているのか、また行われているとすれば、どのような「大学検定」が行われているのか、その調査結果を報告する。本稿を通じて、自校教育のツールとしての『香川大学検定』のあり方について言及したいと考える。

(葛城浩一)

2. 分析の方法

調査対象は4年制大学746校である。調査は2010年4月から8月までの間に行った。検索エンジン「Yahoo! JAPAN」を用い、「〇〇大学 検定」で検索を行い、表示される検索結果10件の中に、「大学検定」に関連する記事が確認されたものを以下の分析で使用する。調査の結果、「大学検定」の存在が確認された大学は67校(9.0%)にのぼる²⁾(表1参照)。

表1. 「大学検定」の存在が確認された大学

1 愛知大学	18 熊本学園大学	35 東京農業大学	52 佛教大学
2 愛知学泉大学	19 慶應義塾大学	36 同朋大学	53 法政大学
3 愛知県立大学	20 国土館大学	37 東洋大学	54 放送大学
4 青山学院大学	21 駒沢大学	38 獨協大学	55 北海道大学
5 朝日大学	22 サイバー大学	39 名古屋大学	56 三重大学
6 亜細亜大学	23 種智院大学	40 名古屋市立大学	57 宮崎大学
7 大阪大学	24 順天堂大学	41 名古屋音楽大学	58 武蔵野美術大学
8 大阪医科大学	25 城西大学	42 名古屋学院大学	59 名城大学
9 大阪市立大学	26 摂南大学	43 名古屋学芸大学	60 山形大学
10 大阪経済大学	27 専修大学	44 名古屋造形大学	61 山梨学院大学
11 大谷大学	28 大正大学	45 南山大学	62 酪農学園大学
12 香川大学	29 中央大学	46 日本大学	63 立教大学
13 鹿児島大学	30 中央学院大学	47 日本体育大学	64 立命館大学
14 神奈川大学	31 中部大学	48 日本福祉大学	65 琉球大学
15 川崎医療福祉大学	32 帝京大学	49 一橋大学	66 龍谷大学
16 京都大学	33 東海大学	50 福井大学	67 早稲田大学
17 京都産業大学	34 東京大学	51 福島大学	

3. 「大学検定」の分類

これら67の「大学検定」を二つの軸を用いて整理したい。一つ目の軸は、「大学検定」が大学全体を対象としたものであるのか、あるいは学部やサークルなど大学の一部を対象としたものであるのか、というものである。二つ目の軸は、「大学検定」が、大学もしくは個人の専用サイトで作成されているものであるのか、あるいは「Yahoo! みんなの検定」や「けんてーごっこ」³⁾などの共用サイトで作成されているものであるのか、というものである。一つ目の軸を「全体」と「一部」として縦軸にとり、二つ目の軸を「専用」と「共用」として横軸にとり、整理したのが図1である。表1の番号で示しているが、複数の「大学検定」がある大学については、①、②と分けて図示している。

カテゴリI(全体×専用)に該当する大学は、「大学検定」が大学全体を対象として、大学もしくは個人の専用サイトで作成されているものである。このカテゴリには、香川大学や熊本学園大学、山形大学など10大学が該当する。例えば、『香川大学検定 2010』は、「香川大学では、他の大学にはない香川大学に独自の講義群を設けています。それは次のうちどれでしょう?」や「香川大学の教育学部・経済学部・農学部の前身校は戦前から存在していました。では、設立が最も古い学校は、次のうちどれでしょう?」など、当該大学に対する理解を深める問題で構成されている。詳細については次節で

全体																			
1	2	3	4	10	11	15	16	17	19	5	7	8							
21①	23	24	25	27	28	29①	31	12	18	45									
33①	34	II				36	37①	I											
39①	40					41	42	44											
48	51	52	53①	54	55	56	57	58	49	60	65								
59	62	63①	64①	66	67②	67①													
共用										専用									
6	9	14	20	21②	22	29②	30	13											
32	33②	IV				35	37②	III											
38	39②					43	46	47											
50	53②	61	63②	64②	67③	26													
一部																			

図1. 「大学検定」の分類

言及するが、総じて自校教育的要素の強い「大学検定」が多数を占めている。

カテゴリ II（全体×共用）に該当する大学は、「大学検定」が大学全体を対象として、「Yahoo! みんなの検定」や「けんてーごっこ」などの共用サイトで作成されているものである。このカテゴリには、東京大学をはじめ 42 大学が該当する。例えば、『東京大学検定』（けんてーごっこ）は「東大のシンボルである植物は？」や「東大の代名詞「赤門」。もともとは旧何藩の邸宅の一部を移築したもの？」など、カテゴリ I と同様、当該大学に対する理解を深める問題で構成されている（図 2 参照）。しかし、こうした「大学検定」はまれであり、「遊び」の要素の強い、言い換えれば、自校教育的要素の弱い「大学検定」が大多数を占めている。

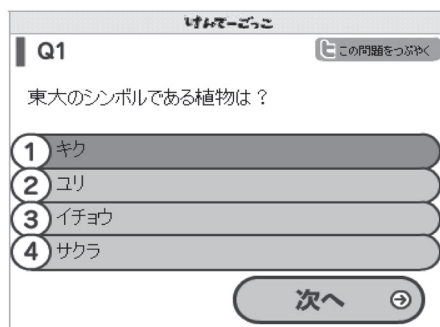


図2. 東京大学『東京大学検定』（けんてーごっこ）

カテゴリ III（一部×専用）に該当する大学は、「大学検定」が学部やサークルなど大学の一部を対象として、大学もしくは個人の専用サイトで作成されているものである。このカテゴリには、鹿児島大学と摂南大学が該当する。例えば、『鹿児島大学ラグビー部検定』は「公式 HP が誕生したのは 2004 年何月何日？」「ファーストジャージの色は白色だ」など、当該コミュニティに所属していれば（あるいは関心があれば）興味をもって回答できる問題で構成されている。

カテゴリ IV（一部×共用）に該当する大学は、「大学検定」が学部やサークルなど大学の一部を対象として、「Yahoo! みんなの検定」や「けんてーごっこ」などの共用サイトで作成されているもので

ある。このカテゴリには23大学が該当する。例えば、『箱根駅伝検定中央大学編』（Yahoo! みんなの検定）は、「〇〇は箱根で何回区間賞を獲っているでしょう？」や「最多総合優勝を誇る中央大。何回総合優勝したでしょう？」など、カテゴリⅢと同様、当該コミュニティに所属していれば（あるいは関心があれば）興味をもって回答できる問題で構成されている（図3参照）。

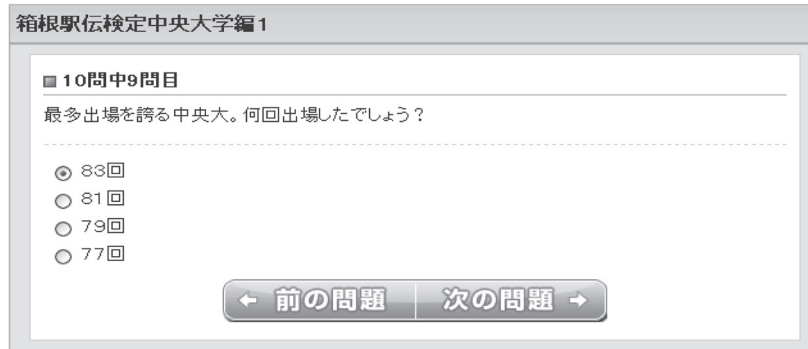


図3. 『箱根駅伝検定中央大学編』（Yahoo! みんなの検定）

言い換えれば、カテゴリⅢやⅣの「大学検定」は、当該コミュニティに所属していなければ（あるいは関心がなければ）興味をもって回答できる問題では構成されておらず、自校教育的要素の弱い「大学検定」が大多数を占めているといえよう。

（竹村勇治）

4. 「大学検定」の内容分析

本節では、総じて自校教育的要素の強いカテゴリⅠの「大学検定」に焦点を当てる。カテゴリⅠに該当する大学は表2の通りである。なお、「大学検定」の存在を当該大学が認識しているかどうか、各大学のHPから広報担当者、総務部等、各大学の窓口となっている部署にメールにて問い合わせた。その結果、認識していると回答した大学は、朝日大学、大阪医科大学、香川大学、熊本学園大学、山形大学の5大学であり、認識していないと回答した大学は、大阪大学、南山大学、琉球大学の3大学であった。残る一橋大学と早稲田大学については十分な回答が得られなかった。

表2. カテゴリⅠに該当する大学

5 朝日大学	12 香川大学	49 一橋大学	67 早稲田大学
7 大阪大学	18 熊本学園大学	60 山形大学	
8 大阪医科大学	45 南山大学	65 琉球大学	

4-1. カテゴリ I の「大学検定」の分析

本項では、カテゴリ I に該当する 10 大学の「大学検定」を、さらに二つの軸を用いて整理する。一つ目の軸は、「大学検定」が自校教育的な問題を含んでいたり、解説が充実していたりするなど、自校教育のコンテンツとしての利用可能性が高いか否か、というものである。二つ目の軸は、「大学検定」が大学の取組のなかに位置づけられたり、大学の広報諸活動に活用されたりするなど、自校教育のツールとしての利用可能性が高いか否か、というものである。一つ目の軸を「コンテンツとしての利用可能性」として縦軸にとり、二つ目の軸を「ツールとしての利用可能性」として横軸にとり、整理したのが図 4 である。

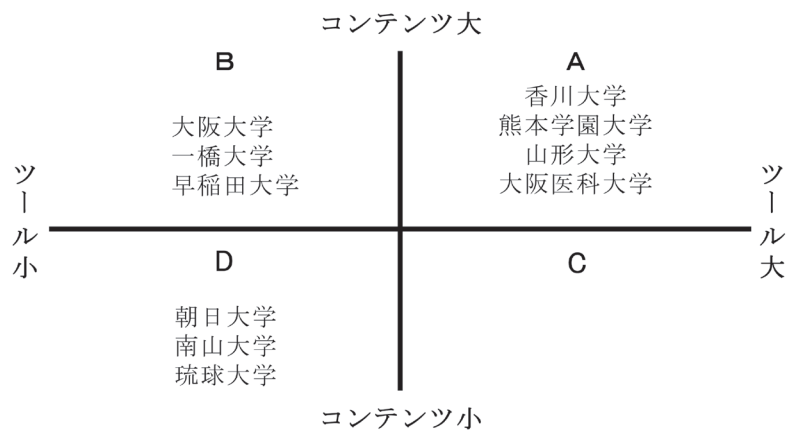


図4. カテゴリ I の「大学検定」の分析

(1) カテゴリ A (コンテンツ大×ツール大)

カテゴリ A は、「大学検定」が自校教育的な問題を含んでいたり、解説が充実していたりするなど、自校教育のコンテンツとしての利用可能性が高く、かつ大学の取組のなかに位置づけられたり、大学の広報諸活動に活用されたりするなど、自校教育のツールとしての利用可能性が高いものである。このカテゴリに該当するのは、香川大学、熊本学園大学、山形大学、大阪医科大学である。

香川大学の『香川大学検定 2010』は、「「香川大学」のことをより深く理解してもらい、それによって「香川大学」のことをもっと好きになってもらいたい」（『香川大学検定 2010』「はじめに」より）という思いから、学生支援サークル「MINts（ミントス）」が作成したものである。冊子だけでなくウェブサイトも開設されている。大学の誇れるような取組や大学の歴史に関わる問題が充実していることに加え、解説も充実していることなどから、自校教育のコンテンツとしての利用可能性も高いと判断した。また、大学の広報誌に掲載されていることに加え、自校教育に関わる授業の際に副読本として利用する教員もいることなどから、自校教育のツールとしての利用可能性は高いと判断した（資料 1 参照）。

熊本学園大学の『学園大検定 2007』は、同大学によって作成されたものである。大学の広報誌やホームページに掲載されている。大学の歴史や建学の精神に関わる問題を含む構成となっていることから、自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高いと判断した。また、先述のように、大学の広報誌やホームページに掲載されていることから、自校教育のツールとしての利用可能性は高いと判断した（資

答45：A. 成豊師範学校（教育学部の前身）
 香川大学の6学部は、戦前に由来を持つ教育・経済・農の3学部と、戦後新たに作られた法・医・工の3学部に分かれますが、その中でも最も古いのは教育学部の前身、成豊師範学校です。成豊師範学校は1874（明治7）年11月に設置された教員養成のための学校で、その後数度の組織改編・改称を経て1943（昭和18）年に国立香川師範学校となり、これが教育学部（現・教育学部）の母体の1つとなりました。次に古いのが農学部の前身の木田郡立乙種農学校で1903（明治36）年2月の設置。その後、こちらも数度の組織変更・改称を経て1950（昭和25）年4月に香川県立農科大学となり、その5年後に香川大学農学部となりました。戦前組で一層新しいのは経済学部前身の高松高等商業学校で1923（大正12）年12月に設置されました。戦時中に廃業の語が課われ高松経済専門学校と名称変更しています。

答46：B. 中央公園付近
 成豊師範学校は高松市五番丁（当時）の浄願寺の横、宣判中学校跡地に開校しました。浄願寺は、今は高松工業高校の敷地にありますが、戦前は中央公園敷地内にありました。ところで、中央公園には「高松高等小学校」の石碑は建てていますが、成豊師範学校跡の石碑はありません。ただ、『香川大学教育学部百年のあゆみ』に掲載されている成豊師範学校の写真と『新修高松市史II』の高松高等小学校の写真は同一のもので、成豊師範学校として使われた後は高松高等小学校の建物になったのでした。よって、中央公園の石碑付近が発祥の地と考えられます。成豊師範学校はその後香川県常備師範学校となって1890（明治23）年に天神前（当時：現在の栗橋イン中割町付近）に移転し、更に1924（大正13）年、現在地に移転しました。

発祥の地か？

問47：教育学部・法学部・経済学部がある幸町キャンパスでは、今から150年前の江戸末期、この土地には何があったでしょう？

A. 壮宗屋敷
 B. 藩校
 C. 農地



問48：幸町キャンパスの南半分にある経済学部の前身は、高松高等商業学校（以下、高松商高）です。この学校は、国庫負担と「超有名人一族の子孫からの寄付金」によって設立されました。その超有名人とは、次のうち誰でしょう？

A. 水戸黄門
 B. 平賀源内
 C. 坂本龍馬



資料1. 香川大学『香川大学検定 2010』

料2参照)。

山形大学の『山大検定』は、「学生の課外活動を活性化し、山形大学（山形）をげんきにしてもらう」ことを目的とした「山形大学・元気プロジェクト」という山形大学の取組に採択された、1年生15名が作成したVTR形式のものである。大学の誇れるような取組や学生生活を充実させるための取組に関わる問題を含む構成となっていることから、自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高いと判断した。また、大学の各種行事で用いられていることから、自校教育のツールとしての利用可能性も高いと判断した（資料3参照）。

大阪医科大学の『OMC 検定』は、大学監修で作成され、広報・入試センターが受験者向けに実施しているものである。学生予備軍である受験者に、大学に対する造詣を深め、愛着を抱いてもらうような意図があることから、自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高いと判断した。また、先述のように、広報・入試センターが受験者向けに実施していることから、自校教育のツールとしての利用可能性も高いと判断した。しかし、その実施状況等については一切の情報を得ることができなかった。

特別バージョン 学園大検定 2007
皆さん奮って挑戦してください。

Q1 開学は何年?
① 昭和17年(1942年) ② 昭和20年(1945年)
③ 昭和25年(1950年) ④ 昭和29年(1954年)
熊本学園大学は時代の変化とともに、幾度か大きな変遷をくりかえしてきました。その際、熊本海外協会の海外協会の力を得て、現在の姿になりました。学校の形式をとったのは、その後の専門学校として設立した。

Q2 初代学長は次のうち誰でしょう。
① 石橋武蔵(たけはし むさし) ② 藤澤謙之(ふせの けんし)
③ 高橋守謙(たけがし しゆけん) ④ 阿部野村(あべの のしむら)
4人いずれも大学の初期の頃の大きな役割を果たしました。彼(ら)の名を遺した下で新しい歩みを進めた人達の功績をたたえ、卒業生の原動力とする意図がいまこめられてののもかもしれません。

Q3 学園大の図書館は夜何時まで開いている?
① 午後9時 ② 午後10時
③ 午後11時 ④ 午前零時
いまでも図書館の長所は読書に在りしに変わりませんが、本学の長所は読書が読書に在りしに変わりませんが、卒業生の原動力とする意図がいまこめられてののもかもしれません。

Q4 学園大にないものはどれ?
① 有線テレビ ② ビデオ録音機
③ 郵便振替 ④ デザイン用石版
読書部、経営学部、外国語学部、社会福祉学部それぞれの専門性により、受け入れられる施設や設備はいへん、パソコンに属しています。また、あなたも図書館が使うようになったらどうなるかおぼえてください。

Q5 学園大にいちばん近いJRの駅は?
① 熊本駅前 ② 水前寺駅
③ 南熊本駅 ④ 熊本駅
大江キャンパスは、熊本市の中心部から歩いて10分程度でたどり着くことができますが、通学にはJRを利用する学生はたくさんいます。駅から歩いて10分以内、緑豊かな環境の中を歩くといいですね。

Q6 学園大から国内留学できる大学は?
① 沖縄国際大学 ② 北星学園大学
③ 日本福祉大学 ④ 広島修道大学
海外留学は海外で学びたいという学生はたくさんいますが、国内の大学へも1年または2年間の留学が可能な大学があります。留学したい大学を決めたい場合は、単位互換制度により卒業単位として認められます。

Q7 学園大の卒業生が進学していない大学院は?
① 大阪立大学大学院 ② 北海道大学大学院
③ 東京大学大学院 ④ 京浜東北大学大学院
熊本、本学には国公立や私立の大学院があります。卒業生7割近くの学生が大学院へ進学するケースも少なくありません。もちろん、他大学大学院への進学もあります。

Q8 熊本商科大、熊本短期大学を現大学名(熊本学園大学)に変更したときの方法はどれ?
① 教授会で決めた。 ② 学内の投票で決めた。
③ 学長が決めた。 ④ 卒業生を中心に賛成から公選した。
学園(現)1944年に創立した「熊本学院」に在りて卒業生を中心とする学生主体の「熊本学院」の名称と関係し、よくなりました。その関係は、熊本学院の歴史をたどるとわかります。学園によってその名称の形も変わってきたのです。

資料2. 熊本学園大学『学園大検定 2007』

山大検定 初級

「山大検定」とは、山形大学にまつわる特徴的・魅力的な情報をクイズ形式で伝えるものです。山大検定は、平成21年度山形大学元氣プロジェクトに採択された企画の1つであり、山形大学1年生15名で作成したビデオ版のクイズです。あなたの知らない山形大学が、そこに発見できることでしょう。さあ、あなたも山大検定に挑戦して、「山大検定マスター」を目指そう!

氏名 _____

クイズ	回答欄 (選択問題には○印を、自由記述問題(空欄の箇所)には記述を)
Q1. 学長がかかっている山形のポリシー、「○○が主役の大学作り」さて、○○に入るの?	①地域 ②学生 ③自己
Q2. 山形大学独自のユニークな取り組みの1つに、「エリアキャンパス○○○」があります。○○○に入るの?	
Q3. 小川川キャンパスの正門がある方向は?	①東 ②西 ③南 ④北
Q4. 現在理学部棟にある SCITA センターで実際に開いている生き物は?	①インコ ②ハムスター ③クラゲ
Q5. 大学内で学生1人が印刷できるプリントの年間上限枚数は600枚です。では、この枚数を縦に並べると、その長さは山形大学小川川キャンパス正門からどこまで届く?	①インフォメーションセンター(約80m) ②教養棟の上(約160m) ③正門と反対側の東門(約280m)
Q6. 山形大学の主題歌「夢のカケラ」を歌っているグループは?	
Q7. 山形の学生が運営している、山形大学フリーペーパーの名称は?	
Q8. 2009年度に開講している初級外国語(英語は含まない)の授業は、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語と、あと1つ何語?	
Q9. 山形大学の横河淳二教授が開発した、現在液晶パネルなどに使われているものは?	
Q10. 山形大学では、南米ペルーにある地上絵の研究が行われています。これは、何の地上絵と呼ばれているのでしょうか?	
Q11. 大学の様々な行事で活躍している山形大学生協学生委員会の通称は?	

資料3. 山形大学『山大検定』初級

(2) カテゴリB (コンテンツ大×ツール小)

カテゴリBは、「大学検定」の自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高いものの、ツールとしての利用可能性が高くはないものである。このカテゴリに該当するのは、大阪大学、一橋大学、早稲田大学である。

大阪大学の『阪大検定』は、非公認サークル「学生団体 阪大運営事務局」が作成したものである。ウェブサイトに掲載されている。大学の歴史に関する問題を含む構成となっていることから、自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高いと判断した。しかし、その存在を大学が認識していないことから、自校教育のツールとしての利用可能性は高くないと判断した。

一橋大学の『一橋大学検定』は、個人によって開設されたウェブ上に掲載されているものである。大学の歴史に関する問題を含む構成となっていることから、自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高いと判断した。しかし、その存在を大学が認識しているかどうかについては十分な回答が得られなかったため、ここでは自校教育のツールとしての利用可能性は高くないと判断した。

早稲田大学の『早稲田検定』は、公認サークル「資格ゲッターズ 早稲田検定実行委員会」が作成したものである。2007年に大学祭で実施された「第1回早稲田検定」はウェブサイトにも掲載されている。多種多様な分野で活躍するOBやOGに関わる問題など、大学の特徴を生かした問題が充実し

ていることから、コンテンツとしての利用可能性は高いと判断した。しかし、その存在を大学が認識しているかどうかについては十分な回答が得られなかったため、ここでは自校教育のツールとしての利用可能性は高くないと判断した。

(3) カテゴリC (コンテンツ小×ツール大)

カテゴリCは、「大学検定」の自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高くはないが、ツールとしての利用可能性は高いものである。このカテゴリに該当する大学はなかった。

(4) カテゴリD (コンテンツ小×ツール小)

カテゴリDは、「大学検定」の自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高くはなく、かつツールとしての利用可能性も高くはないものである。このカテゴリに該当するのは、朝日大学、南山大学、琉球大学である。

朝日大学の『朝日大学検定』は、2009年度の大学主催の卒業記念パーティーで実施されたものである。問題例については大学のホームページにも掲載されている。この問題例から、自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高くないと判断した。また、ホームページには卒業記念パーティーの様子を伝える内容の一部として、問題例とその回答が記されているのみであることから、自校教育のツールとしての利用可能性も高くないと判断した。

南山大学の『第1回南山力検定』は、学生が主体となって運用する学生ブログの記事に掲載されたものである。ラテン語で回答する問題や留学生のフルネームを問う問題などで構成されていることから、自校教育のコンテンツとしての利用可能性は高くないと判断した。また、その存在を大学が認識していないことから、自校教育のツールとしての利用可能性は高くないと判断した。

琉球大学の『琉大検定』は、大学が作成したものである。ウェブサイトにも1問のみ掲載されている。『琉大検定』は、そもそも大学の記念事業のPRのためのキャッチフレーズであり、「大学検定」そのものではなかった。このことから、自校教育のツールとしての利用可能性及びコンテンツとしての利用可能性は高くないと判断した。

(高橋範久)

4. おわりに

本稿では、各大学でどの程度「大学検定」が行われているのか、また行われているとすれば、どのような「大学検定」が行われているのか、その調査結果を報告してきた。主要な知見は以下の通りである。

まず第一に、検索エンジン「Yahoo! JAPAN」を用い、「〇〇大学 検定」で検索を行った結果、「大学検定」の存在が確認された大学は67校(9.0%)にのぼった。

第二に、その大部分が「Yahoo! みんなの検定」や「けんてーごっこ」などの共用サイトで作成されたものであり、自校教育的要素の弱い「大学検定」が大多数を占めていた。

第三に、大学全体を対象として、大学もしくは個人の専用サイトで作成されたものは10件しかな

いが、自校教育的要素の強い「大学検定」が多数を占めていた。

第四に、しかしその中でも、自校教育のコンテンツとしてだけでなく、ツールとしての利用可能性も高い「大学検定」は、『香川大学検定』を含め、わずかしかな存在しなかった。

このように、「大学検定」は数あれど、自校教育のツールとしての利用可能性も高い『香川大学検定』は、全国的にも稀有な取組であることが確認できた。また、熊本学園大学や山形大学のように大学の各種行事や広報諸活動で活用するだけでなく、自校教育に関わる授業での活用に踏み出しつつあるという点でも稀有な取組であることが確認できた。

ただし、自校教育に関わる授業での活用といっても、現時点では、香川大学の事情（歴史を含む）に詳しい教員が副読本として利用している程度に過ぎない。今後は、香川大学に所属する教員であれば誰でも自校教育が行えるような、『香川大学検定』をテキストとして用いる授業方法の確立が望まれる。これによって、本学の学生の愛校心や帰属意識の高まりが期待できるだけでなく、教員の愛校心や帰属意識の高まりも期待できよう⁴⁾。

また、本稿でみてきた他大学の取組に学び、『香川大学検定』に活かしていくことも忘れてはならない。例えば、山形大学の『山大検定』のような映像化というアプローチは非常に示唆的であった。学生の活字離れが進んでいる現状においては、「読み物」としても楽しめるような様々な「仕掛け」を施している『香川大学検定』であっても、学生にとっては「まだまだ敷居が高い」との声も聞かれる⁵⁾。こうした現状を映像化によって克服することで、自校教育のツールとしての『香川大学検定』の有効性がさらに高まることは想像に難くない。このほかにも他大学の取組において参考になる点は少なくない。そうした点を活かしながら、今後も『香川大学検定』の内容をブラッシュアップしていきたいと考える。

(葛城浩一)

注

- 1) 全国 752 大学のうち、373 大学 (国立 62 大学) から回答が得られ、このうち 136 大学 (国立 33 大学) が自校教育に関する授業を実施していると回答した。なお、「検討中」と回答した 33 大学を含めると、自校教育に関する授業を実施、もしくは検討している大学は 45.3%とほぼ半数に及んでいる。
- 2) 2010 年 12 月に同様の方法で再調査を行ったところ、大きく異なる結果が得られた。本稿の調査では、表示される検索結果 10 件の中に、「大学検定」に関連する記事があるかどうかを確認したのだが、検索結果の件数を増やせば、「大学検定」の存在が確認される大学はさらに増えるものと考えられる。
- 3) 「Yahoo! みんなの検定」や「けんてーごっこ」は、会員登録をすれば誰でも手軽に検定を作成できるサイトである。
- 4) 香川大学では、新任教員研修の際に『香川大学検定』を配布している。『香川大学検定』をテキストとして用いる授業方法が確立すれば、教員に対する自校教育として、新任教員研修の研修内容にそれを援用することも検討されてよいだろう。
- 5) ただし、その他の情報媒体に比べれば、はるかに「敷居は低い」と考えられる。実際、『香川大学検定』を読んだ高校生からは、「大学案内よりも香川大学に対する理解が深まる」との声が聞かれた。

参考文献

河原勝浩・林晶子・葛城浩一、2009、「香川大学検定をつくる！－自校教育へのアプローチ－」香川大学大学教育開発センター編『香川大学教育研究』第6号、93-101頁。

大川一毅、2006、「大学における自校教育の現況とその意義－全国国立大学実施状況調査をふまえて－」『秋田大学教養基礎教育研究年報』第8号、11-21頁。

大川一毅、2009、「全国大学における自校教育の実施状況－2008年度「自校教育実施状況調査」をふまえて－」大学教育学会編『大学教育学会誌』第31巻第1号、172-178頁。